



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 黒田精工

コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荻窪 康裕

TEL 044-555-3800

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,428	6.1	△251	—	△187	—	1,047	—
25年3月期第2四半期	5,115	△19.0	90	△81.5	168	△70.6	7	△98.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,304百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △115百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	37.33	—
25年3月期第2四半期	0.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,508	8,056	44.8	279.55
25年3月期	18,384	6,780	35.8	234.45

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,846百万円 25年3月期 6,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	1.00	1.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	18.4	△50	—	80	△67.0	1,200	—	42.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	28,100,000 株	25年3月期	28,100,000 株
26年3月期2Q	32,782 株	25年3月期	32,318 株
26年3月期2Q	28,067,373 株	25年3月期2Q	28,068,256 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による財政・金融政策の効果により回復基調で推移したものの、国内設備投資への波及については限定的なものに止まりました。こうした中、当社グループの業績は半導体市場の低迷に加えて、中国を始めとする新興国経済の成長率鈍化等により厳しい状況が継続しました。前連結会計年度に行なった欧州企業の買収効果もあり連結ベースでの受注高は5,651百万円（前年同期比417百万円、8.0%増）売上高5,428百万円（前年同期比312百万円、6.1%増）となりましたが、利益面に関しては単体収益の大幅な落ち込みに加え、前年同期に比較して欧州以外の連結子会社の収益が落ち込んだことや持分法投資利益が28百万円減少したこと等が影響し、経常損失187百万円（前年同期は経常利益168百万円）となりました。特別損益に関しては、ツーリングの事業構造改善費用と事業譲渡損失を合わせた159百万円、金型のクレーム対策費用67百万円をそれぞれ特別損失として計上した一方、本社固定資産の譲渡等による特別利益1,284百万円を計上した結果、四半期純利益は1,047百万円（前年同期比1,039百万円増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

○駆動システム

半導体市場の低迷が続き単体ベースでの売上高が大幅に減少したものの、連結ベースでは前連結会計年度に行なった欧州企業の買収により受注高2,472百万円（前年同期比628百万円、34.1%増）、売上高2,400百万円（前年同期比397百万円、19.9%増）の結果となりました。しかしながら、利益面では単体での損失計上に加え、企業買収によるのれん償却の影響等により、営業利益47百万円（前年同期比42百万円、47.4%減）の結果となりました。

○金型システム

ハイブリッド自動車用モーターコアに関しては、自動車のモデルチェンジの狭間にあつたことにより売上が減少いたしました。加えて、中国子会社の損失拡大が影響し、受注高1,233百万円（前年同期比271百万円、18.0%減）、売上高1,263百万円（前年同期比124百万円、9.0%減）、営業損失164百万円（前年同期は営業利益23百万円）の結果となりました。

○機工・計測システム

欧州企業買収効果があつた一方、単体業績の低迷に伴い当セグメントの受注高1,954百万円（前年同期比43百万円、2.3%増）、売上高1,773百万円（前年同期比22百万円、1.3%増）の結果となりました。収益面においては、半導体・液晶パネル需要の冷え込みによる超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ）の売上が低迷したことに加えて、APIねじゲージ、工作機械の売上が減少したことによる単体損失計上の影響が大きく、営業損失119百万円（前年同期は営業損失11百万円）の結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は17,508百万円となり、前連結会計年度末と比較して875百万円減少しました。これは流動資産が276百万円増加したものの、本社固定資産売却等により固定資産が1,151百万円減少したことによるものです。

一方負債合計額は9,451百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,151百万円減少しました。これは短期借入金の減少2,068百万円を主因として流動負債が1,881百万円減少したことに加え、本社固定資産売却に伴ない、固定負債その他に含まれる再評価に係わる繰延税金負債の減少310百万円を主因として固定負債が269百万円減少したことによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は8,056百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,276百万円増加しました。これは本社固定資産売却益1,283百万円を主因とするものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に対し283百万円増の2,231百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は14百万円（前年同四半期243百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前純利益、減価償却費などにより資金が増加した一方、棚卸資産の増加、その他資産の増加などにより資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、増加した資金は2,431百万円（前年同四半期194百万円の使用）となりました。これは主に固定資産の売却による収入2,589百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は2,147百万円（前年同四半期728百万円の使用）となりました。これは主に固定資産の売却による収入等により借入金の返済を実行したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、前回公表（平成25年9月27日）の業績予想を変更していません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結会社は、有形固定資産の工具、器具及び備品のうち金型について、第1四半期連結会計期間より、減価償却の方法を従来の定率法から定額法へ変更しております。

この変更は新規受注の増加により、金型の製作費用が増加し重要性が増していることから、当該金型代金相当額の取引条件（一定期間内均等受取）に対応させて減価償却を行うことで、従来の減価償却方法によった場合に比較して、より適正な期間損益を算定することを目的としたものであります。

これにより、従来の方法によった場合と比べ当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失は24,866千円減少し、また税金等調整前四半期純利益は同額増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,973,587	2,256,858
受取手形及び売掛金	2,399,341	2,401,491
商品及び製品	609,136	473,452
仕掛品	1,243,827	1,253,342
原材料及び貯蔵品	510,874	509,007
その他	389,778	508,567
貸倒引当金	15,684	15,825
流動資産合計	7,110,861	7,386,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,850,698	2,759,491
土地	3,231,169	2,001,433
その他（純額）	1,775,856	1,734,419
有形固定資産合計	7,857,723	6,495,344
無形固定資産		
のれん	1,325,376	1,398,972
その他	124,868	113,714
無形固定資産合計	1,450,244	1,512,687
投資その他の資産		
投資有価証券	1,287,324	1,392,335
その他	679,758	722,761
貸倒引当金	1,271	1,151
投資その他の資産合計	1,965,811	2,113,944
固定資産合計	11,273,779	10,121,976
資産合計	18,384,640	17,508,871

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,939,864	2,105,164
短期借入金	4,151,895	2,082,925
未払法人税等	35,476	24,575
賞与引当金	144,807	139,737
その他	736,659	774,363
流動負債合計	7,008,705	5,126,766
固定負債		
長期借入金	1,045,037	1,129,925
退職給付引当金	1,870,820	1,885,941
役員退職慰労引当金	100,207	112,210
環境対策引当金	93,872	93,872
その他	1,485,128	1,103,251
固定負債合計	4,595,067	4,325,202
負債合計	11,603,772	9,451,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,875,000	1,875,000
資本剰余金	1,451,395	1,451,395
利益剰余金	1,346,764	2,929,809
自己株式	7,259	7,345
株主資本合計	4,665,900	6,248,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	352,652	421,745
土地再評価差額金	1,413,032	849,567
為替換算調整勘定	148,981	326,064
その他の包括利益累計額合計	1,914,667	1,597,376
少数株主持分	200,299	210,666
純資産合計	6,780,867	8,056,902
負債純資産合計	18,384,640	17,508,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,115,983	5,428,885
売上原価	3,897,571	4,183,175
売上総利益	1,218,412	1,245,709
販売費及び一般管理費	1,127,445	1,497,434
営業利益又は営業損失(△)	90,966	251,724
営業外収益		
持分法による投資利益	36,035	7,401
設備賃貸料	34,503	34,839
受取ロイヤリティー	48,657	43,723
助成金収入	22,822	22,556
その他	33,915	85,272
営業外収益合計	175,933	193,792
営業外費用		
支払利息	63,742	58,798
シンジケートローン手数料	2,000	26,999
その他	32,335	43,853
営業外費用合計	98,077	129,651
経常利益又は経常損失(△)	168,822	187,584
特別利益		
固定資産売却益	—	1,284,309
特別利益合計	—	1,284,309
特別損失		
投資有価証券評価損	—	589
固定資産除却損	1,507	1,867
クレーム対策関連費用	—	67,000
本社移転費用	—	18,452
事業譲渡損	—	115,591
事業構造改善費用	—	43,504
特別損失合計	1,507	247,004
税金等調整前四半期純利益	167,315	849,721
法人税、住民税及び事業税	32,478	27,572
法人税等調整額	110,985	225,566
法人税等合計	143,463	197,993
少数株主損益調整前四半期純利益	23,851	1,047,715
少数株主利益	15,921	69
四半期純利益	7,930	1,047,646

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23,851	1,047,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	144,038	69,092
為替換算調整勘定	4,767	187,379
その他の包括利益合計	139,271	256,472
四半期包括利益	115,420	1,304,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,728	1,293,821
少数株主に係る四半期包括利益	16,307	10,366

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	167,315	849,721
減価償却費	294,392	321,933
のれん償却額	—	32,330
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	57	20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,790	5,069
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,255	15,120
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,662	12,003
事業譲渡損	—	115,591
受取利息及び受取配当金	12,256	13,768
支払利息	63,742	58,798
持分法による投資損益 (△は益)	36,035	7,401
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	1,284,309
有形固定資産除却損	1,507	1,867
売上債権の増減額 (△は増加)	34,768	51,071
たな卸資産の増減額 (△は増加)	181,874	74,831
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,826	124,011
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	59,587	73,253
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4,706	69,586
その他	690	4,219
小計	317,979	58,468
利息及び配当金の受取額	12,256	13,768
利息の支払額	61,688	51,421
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	25,494	35,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	243,052	14,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	334	363
有形及び無形固定資産の取得による支出	189,908	119,442
敷金及び保証金の差入による支出	500	34,882
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	2,589,066
その他	3,853	2,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	194,597	2,431,595
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	9,841	2,364,300
長期借入れによる収入	—	1,663,180
長期借入金の返済による支出	615,697	1,334,579
リース債務の返済による支出	47,059	83,373
自己株式の取得による支出	123	85
配当金の支払額	56,137	28,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	728,859	2,147,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,066	13,452
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	673,338	283,269
現金及び現金同等物の期首残高	3,234,965	1,948,144
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,561,626	2,231,414

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,997,696	1,388,233	1,730,053	5,115,983	—	5,115,983
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,950	—	20,373	25,324	25,324	—
計	2,002,647	1,388,233	1,750,426	5,141,307	25,324	5,115,983
セグメント利益又は損失(△)	89,445	23,588	11,427	101,606	10,639	90,966

(注) 1 セグメント利益の調整額△10,639千円は、セグメント間取引消去△6,391千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△4,248千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,394,572	1,263,719	1,770,594	5,428,885	—	5,428,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,942	—	2,498	8,440	8,440	—
計	2,400,514	1,263,719	1,773,093	5,437,326	8,440	5,428,885
セグメント利益又は損失(△)	47,090	164,141	119,613	236,664	15,060	251,724

(注) 1 セグメント利益の調整額△15,060千円は、セグメント間取引消去△2,166千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△12,894千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の工具、器具及び備品のうち金型について減価償却の方法を変更しております。

これにより、従来の方によった場合と比べ、当第2四半期連結累計期間の「金型システム」のセグメント損失は24,866千円減少しております。